

「無限の可能性への挑戦」と「感謝の気持ち」

父母と先生の会 会長 小川 修

2020年4月6日

新入生の皆さん、またご家族の皆さま、開成学園へのご入学誠にありがとうございます。

父母と先生の会会長を務めております小川と申します。入学式の佳き日にあたって、一言お祝いのご挨拶をさせていただきます。

本来であれば、真新しい「ペン剣」の制服と喜びに満ちた皆さんの眼差し、ご家族のご子息に向けた感慨深い視線を目の前に祝辞を述べる機会となるはずでしたが、今回このような形での入学式となってしまったこと、大変残念な気持ちで一杯です。しかし、少しスタート時期は遅くなってしまっていますが、これから皆さんを待ち受ける学園生活は、恐らく皆さんが期待している以上の素晴らしいものとなることと確信しています。

と言いますのも、私自身も「ペン剣」の徽章に憧れ、45年前に新入生として入学を許され、また4年前には息子の入学に伴い保護者としても、皆様と同じ経験をさせて頂くことができたからです。開成学園の建学の精神や教育方針、先輩後輩に脈々と受け継がれる伝統の素晴らしさについては、理事長や校長先生のご挨拶で言及されていることと思います。

そこで、私からは、新入生の皆さんへのお祝いの言葉として、「無限の可能性への挑戦」と「感謝の気持ち」の2つのキーワードをお贈りしたいと思います。

恐らく、皆さんは開成入学に至るまで、その目的の為にいくつかのことを我慢してきた経験があると思います。でも、これからは、自らの目指す目標を模索して、それに向かって進めるという「無限の可能性」があるという、極めて恵まれたステージに立っています。そして学校では、それを指南してくれる先生方、切磋琢磨し合える同級生、そして先輩後輩が皆さんを支えてくれます。これ

らは、今振り返ると私にとっても自分自身の礎となる生涯の財産になっています。「道灌山の学び家」のもつ不思議な磁力の中で、他では経験のできない化学反応を自ら起こす心意気で勉強だけでなく様々なことに「挑戦」してみてください。

もうひとつの言葉が「感謝の気持ち」です。皆さんの置かれた恵まれた環境は、勿論皆さん自身の努力もあって勝ち得たものですが、それだけではありません。言うまでもなく、それはご両親を初めとした皆さんを支えてくれた方々のお蔭でもあります。私自身の経験でも、開成での学校生活が日常化すればするほど、その気持ちをついつい忘れてしまいがちです。是非、折に触れてこの「感謝の気持ち」を思い出して下さい。

皆さんが開成生として第一歩を踏み出されたこの日は、恐らく忘れられないシーンの一つになることと思います。その際に、この2つの言葉を少しでも思い出して頂ければ幸いです。本当におめでとうございます。

最後になりますが、1日も早く学園に皆さんを初めとした生徒たちの生き活きとした姿が戻ることと、皆さんの学園生活が素晴らしい日々となりますことを祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。